

「人権週間によせて」(令和3年11月24日全校朝会での話)



今日は、このポスターのお話をしたいと思います。

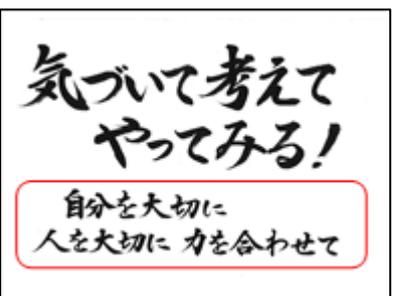
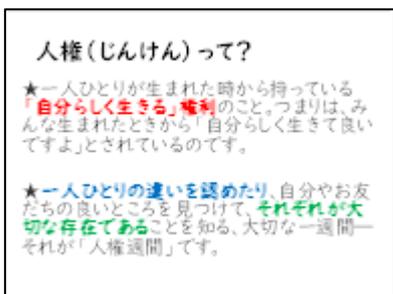
これは、「人権週間」のポスターです。

12月10日は、世界人権デーといい、世界中で「人権」について考える日です。12月4日～12月10日の1週間を「人権週間」といいます。

「人権」ということばを聞いたことがありますか。

「人権」とは、一人ひとりが生まれた時から持っている「自分らしく生きる」権利のこと。つまりは、みんな生まれたときから「自分らしく生きて良いですよ」とされているのです。みんながみんな違うように、全部が同じ人なんて誰もいません。一人ひとりの違いを認めたり、自分やお友だちの良いところを見つけて、それぞれが大切な存在であることを知る、大切な一週間。それが「人権週間」です。

さて、これは加計小学校の目標ですね。この中に、「人権」に関わることがあるのですが見つけられますか。皆さんに自分の行動を決めるときのものさしとして、この「自分を大切に人を大切に力を合わせて」という「人権感覚」を使えるようになってほしいと願ってこの目標を立てました。では1つずつ分けて考えてみましょう。



1つ目は「自分を大切に」です。

皆さんは自分を大切にしていますか？それはどんなことでしょうか。それは自分の心と体を大切にすることです。好きなこと、感じ方、考え方、やりたいこと……。そういう自分の気持ちを大切にしてほしいと思います。例えば、毎日ちゃんとお飯を食べる、しっかり寝る、勉強をして賢くなる、体を動かす。これらのことは、みな自分の

ことを大事にしていることです。また、自分の好きなことをする、もちろんゲームだってかまいません。本を読むことが好きな人は自分の時間にたくさん本を読んでいることでしょう。この前、傘をささずに下校しようとした人達に、私は「かさを持ってきなさい」と言いましたね。小さなことですが、雨の降る中傘をささずに歩くことは、自分の健康を守ることではないと私は考えます。



次に「人を大切に」です。好きなことや感じ方、考え方などは、一人一人みんな違います。だから、「人を大切にすること」はちょっと難しいのです。自分とは違う相手の気持ちを想像しなければならないからです。大人の私もよく失敗します。自分がこう考えているからきっとあの人も同じように考えるにちがいないと思い込んでしまうからです。人は違って当たり前。だから、相手の気持ちを想像することが

必要になります。友達と学校で一緒に過ごしながら、想像力を働かせてください。ドンマイと声をかけたり、おはよう・さよならと挨拶を交わしたりすること、話をちゃんと聞くことは、「人を大切にすること」です。小さなことですがだれにでもできることです。



最後は、「力をあわせて」です。学校では自分だけでできないことがたくさんあります。だから、クラスの友達など、力を合わせていろいろなことに取り組んでいますね。一人一人考え方は違うわけですから、自分のことばかりを言っていれば当然、けんかになりますし、傷つけあうこともあります。そんなときに、どうしたら、いい方向にすすめるのかを一緒に考える—それが「力をあわせて」です。生活

でも、勉強でも、遊びでも、とにかく話をしてみる。考えを伝え合うことをしながら、自分たちの生活をよいものにしていくことが大切です。

3つのことを話しましたが、この写真をご覧ください。



「そのときそのときを一生懸命すること。やりたくないことがあっても逃げ出さずにかんばること。」

「一人一人がもっている気持ちや考えを出し合って、いっしょにやってみること」

「考えの違いを出し合い、認め合い、新しい考えを創りだすこと」

加計小学校の子どもたちは、みないつもよくやっていますよ。こうしてみると「人権」を守ることは私たちの生活の中にたくさんあるということがわかります。

